

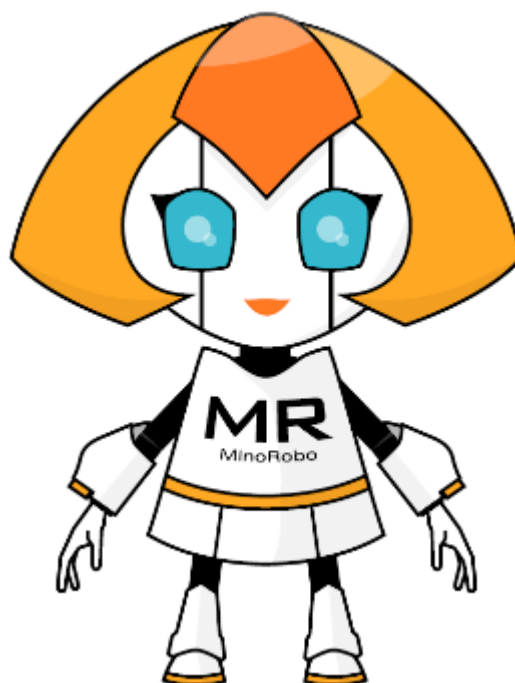
RPA MinoRobo

出張ロボ

操作マニュアル

第 1.7.19 版

2022 年 1 月



目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 基礎知識..... | 3 |
| 1-1. 出張ロボ概要..... | 3 |
| 1-2. 出張ロボのインストール..... | 3 |
| 2. 準備..... | 4 |
| 2-1. 概要..... | 4 |
| 2-2. 出張先の設定..... | 4 |
| 2-3. 出張元の設定..... | 5 |
| 3. 出張依頼..... | 7 |
| 3-1. 出張依頼..... | 7 |
| 3-2. 出張依頼の取り消し..... | 9 |
| 3-3. 出張結果のダウンロード..... | 10 |
| 3-4. コマンドラインでの実行..... | 11 |
| 4. 制限事項..... | 13 |
| 4-1. 機能制限..... | 13 |
| 4-1-1. 出張ロボの機能制限..... | 13 |
| 5. 参考..... | 14 |
| 5-1. 「シナリオファイル⇒フォルダ名」アクションの使用例..... | 14 |

1. 基礎知識

1-1. 出張ロボ概要

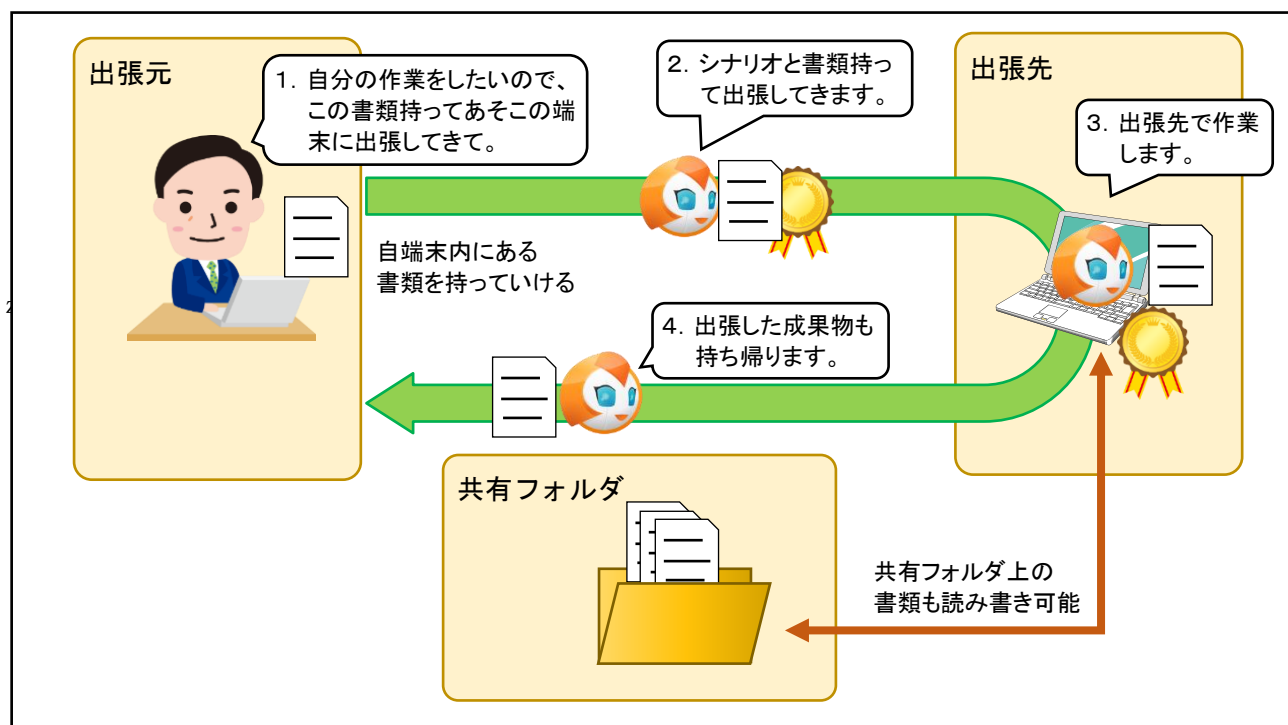
MinoRoboはデスクトップ型RPAのため、作成したシナリオを実行する場合に、自端末を占有してしまいます。そのため、業務担当者は自端末でシナリオを実行している間は自端末での作業が出来なくなります。

また、MinoRobo 専用端末を用意していても、シナリオを実行させたい場合は MinoRobo 専用端末まで移動してから、シナリオの実行指示をしなければなりません。

この問題を解決するのが出張ロボです。業務担当者は自分の端末からロボを出張させることにより、専用端末まで移動することなく、自端末の占有を回避することが可能となります。

出張ロボは自端末(出張元)から出張依頼を行うことで、シナリオファイル/ライセンスファイル/自端末の書類を持って実行端末(出張先)でシナリオの実行を行います。また、実行した結果(成果物)をダウンロード(持ち帰り)することが可能です。本マニュアルでは Maker/Worker がインストールされており出張依頼をする端末を「出張元」、出張ロボがインストールされており出張元から出張依頼を受けて実行をする端末を「出張先」と表記します。出張先から出張依頼をされ出張結果を持ち帰るイメージは下記の図-1. 出張ロボ概要イメージを参照ください。

図-1. 出張ロボ概要イメージ



1-2. 出張ロボのインストール

MinoRobo Maker/Worker をインストールすると出張元のアプリケーションは自動的にインストールされます。また、出張ロボインストーラーを実行することで出張元アプリケーションをインストールすることができます。インストール方法の詳細は「インストールマニュアル」/「出張ロボインストールマニュアル」を参照してください。

2. 準備

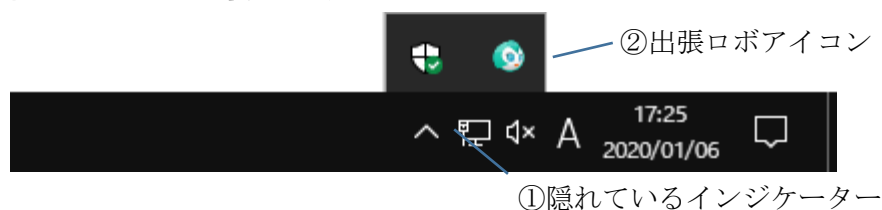
2-1. 概要

出張元から出張先に出張依頼/結果のダウンロードを行うためには、出張元/出張先のそれぞれで端末設定と通信の設定を行う必要があります。ここでは出張元と出張先それぞれの設定方法について説明をいたします。

2-2. 出張先の設定

出張ロボをインストールした出張先はインストール後、図-2. インストール後のタスクバーのようにタスクバーの①「隠れているインジケータ」の中に出張ロボアイコンが表示されるようになります。

図-2. インストール後のタスクバー



出張ロボアイコンを選択すると図-3. 「MinoRobo 出張ロボ 出張先」画面が表示されますので、「通信設定」ボタンをクリックすると図-4. 「設定」画面が表示されます。

図-3. 「MinoRobo 出張ロボ 出張先」画面



図-4. 「設定」画面

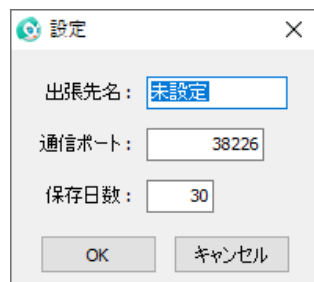


図 4「設定」画面が表示されましたら、各項目を設定します。各項目については表-1. 設定画面項目を参照して設定をしてください。

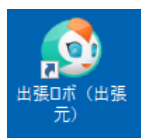
表-1. 設定画面項目

| 項目名 | 初期値 | 内容 |
|-------|-------|---|
| 出張先名 | “未設定” | 出張元に表示される出張先の名称を設定します。 なお、MinoRobo Manager 使用ユーザの場合は設定不要です。MinoRobo Manager より端末名称を設定してください。 |
| 通信ポート | 38226 | 出張元と通信するポート番号です。出張元と合わせた番号を設定してください。 |
| 保存日数 | 30 | 出張結果を保持する日数を設定します。 ※この日数を経過すると出張結果を削除します。 |

2-3. 出張元の設定

MinoRobo Maker/Worker をインストールした出張元は、図-5. デスクトップに「出張ロボ(出張元)」ショートカットが表示されるようになります。

図-5. 「出張ロボ(出張元)」ショートカット



ショートカットをダブルクリックすると図-6. 「MinoRobo 出張ロボ 出張元」画面が表示されますので、「出張先登録」ボタンをクリックすると図-7. 「出張先登録」画面が表示されます。

図-6. 「MinoRobo 出張ロボ 出張元」画面



図-7. 「MinoRobo 出張先登録」画面

図-7. 「MinoRobo 出張先登録」画面が表示されましたら、「設定」ボタンをクリックして「出張先登録エリア」で出張先の登録をします。出張先登録に必要な各項目については表-2. 出張先登録項目を参照して設定をしてください。

表-2. 出張先登録項目

| 項目名 | 初期値 | 内容 |
|--------------|-------|--|
| IP アドレス/サーバ名 | 【空欄】 | 出張先の IP アドレスまたはコンピュータ名を指定します。 |
| ポート番号 | 38226 | 出張先と通信するポート番号です。出張先と合わせた番号を設定してください。 |
| 保存日数 | 30 | 出張結果を保持する日数を設定します。 ※この日数を経過すると出張結果を削除します。 |

出張先端末の登録を行うと出張先一覧表示エリアに登録した出張先の情報が表示されます。出張先一覧表示エリアに表示される項目については表-3. 出張先一覧表示項目を参照してください。

表-3. 出張先一覧表示項目

| 項目名 | 内容 |
|-------|--|
| 出張先名称 | 「2-2. 出張先の設定」で登録した名称、または MinoRobo Manager 使用ユーザの場合は MinoRobo Manager で登録した端末名称が表示されます。 |
| 状態 | 「起動中」表示: 出張先が起動されている状態です。 「接続不可」表示: 出張先と通信ができません。出張先、出張元の設定を確認してください。 |

3. 出張依頼

3-1. 出張依頼

出張元から出張先へのお出張依頼の方法について説明いたします。出張元のデスクトップに表示されている「出張ロボ（出張元）」ショートカットをダブルクリックすると図-8.「MinoRobo 出張ロボ 出張元」画面が表示されます。「出張依頼」ボタンをクリックすると、図-9.「出張依頼」画面が表示されます。

図-8.「MinoRobo 出張ロボ 出張元」画面



図-9.「出張依頼」画面

本画面より出張依頼に必要な項目を設定して出張依頼を行います。各項目については表-4. 出張依頼画面項目を参照して設定してください。

表-4. 出張依頼画面項目

| 項目名 | 内容 |
|------------|--|
| 出張先 | 出張先をリストから選択します。 リストには「出張先登録画面」で登録されている出張先が選択可能です。 |
| 出張シナリオ | 依頼するシナリオファイルを指定します。 シナリオファイルを入力欄へドラッグ&ドロップ、もしくは入力欄の右隣りのボタンをクリックしてファイル選択画面から指定します。 |
| 出張書類を持たせる※ | チェックボックスにチェックを入れることで「出張シナリオ」に指定したシナリオのフォルダ配下にあるファイルを持たせることができます。 出張先で処理した結果は「出張成果物取得」をすることでダウンロードすることが可能です。 「出張成果物取得」については「3-3. 出張結果のダウンロード」を参照してください。 |
| 実行開始日時 | 出張依頼するシナリオファイルが出張先で実行を開始する日時を指定します。 すでに同一時刻に出張予約がされている場合、予約を行うことができません。予約時刻を変更、もしくは出張先を変更してください。 |
| 想定時間(分) | 出張依頼するシナリオファイルを実行するのに掛かるおおよその所要時間を分で指定します。設定値は1以上の整数で入力してください。 |

※「出張書類を持たせる」場合、出張元のファイルパスと出張先のファイルパスは異なります。これを解消するためには「シナリオファイル⇒フォルダ名」アクションで取得したパスを使用した、相対パスを使用する必要があります。相対パスを使用したアクションについては「5-1. 「シナリオファイル⇒フォルダ名」アクションの使用例」を参照してください。

出張依頼に必要な項目の設定が出来ましたら「出張依頼」ボタンをクリックすることで、出張先へ出張依頼の登録が完了します。

また、出張依頼したシナリオの実行状況は、図-10. 出張依頼状態の確認の赤枠に囲まれているエリアに表示されている一覧の「状態」欄から確認することができます。一覧の状態を更新する場合、図-10. 出張依頼状態の確認の「一覧更新」ボタンをクリックしてください。また、各状態の詳細については表-5. 出張依頼状態を参照してください。

図-10 . 出張依頼状態の確認

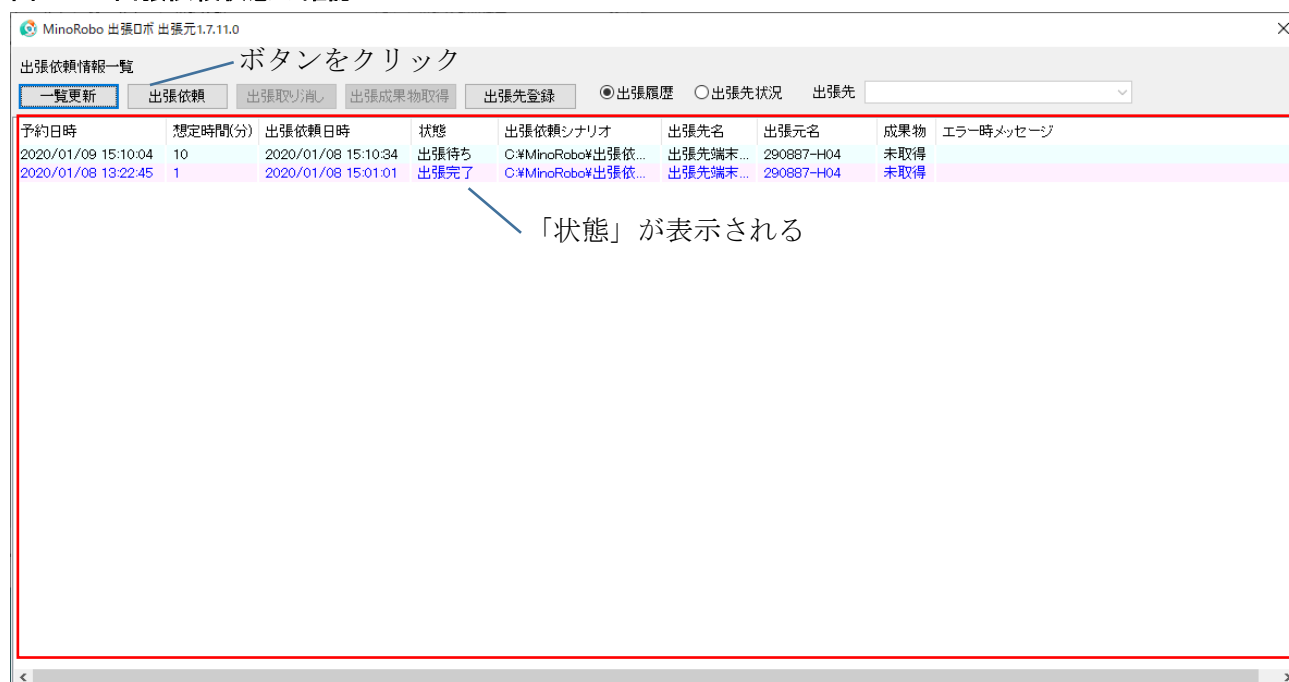


表-5. 出張依頼状態

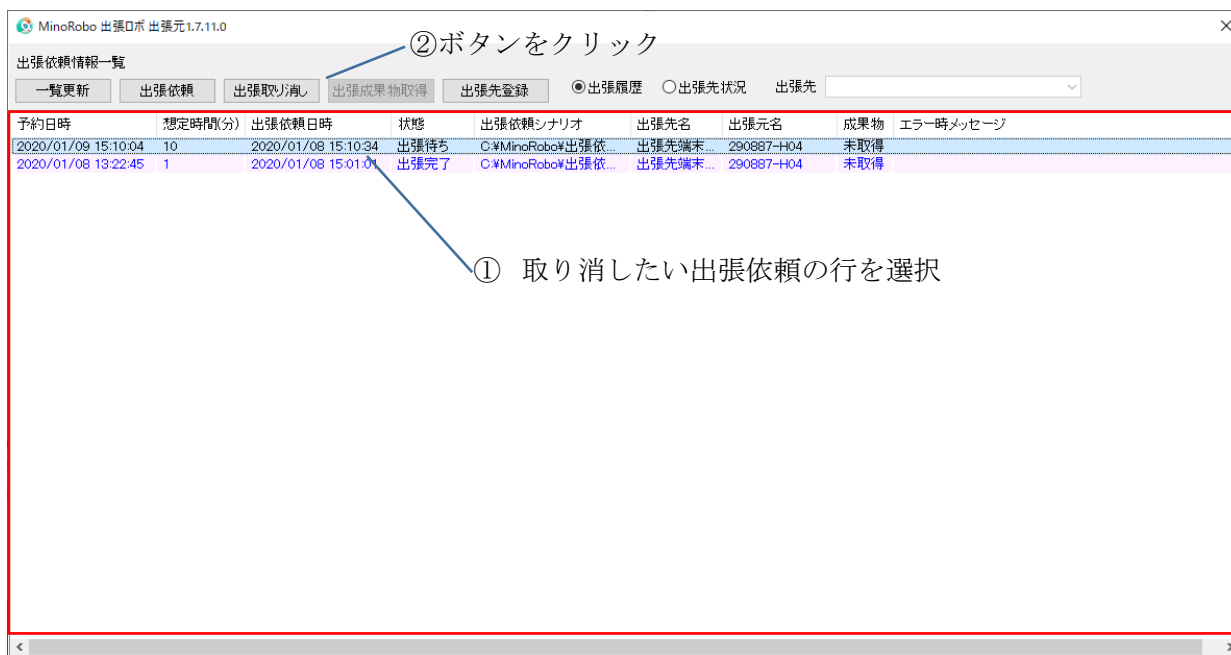
| 状態 | 内容 |
|--------|---|
| 出張待ち | 出張依頼したシナリオが実行待ちをしている状態。 |
| 出張作業中 | 出張依頼したシナリオが出張先で実行されている状態。 出張作業中は出張元の端末で「MinoRobo Worker」を使用することができません。 |
| 主張取り消し | 出張依頼が取り消された状態。 |
| 出張完了 | 出張依頼したシナリオが終了した状態。 |
| エラー | 出張依頼したシナリオがエラー終了した状態。 エラーの詳細については「エラー時メッセージ」から確認することができます。 |

3-2. 出張依頼の取り消し

出張依頼の状態欄が「出張待ち」の場合に限り、出張依頼を取り消すことができます。

図-11. 出張依頼の取り消しの赤枠で囲われているエリアから取り消しを行いたい出張依頼の行を選択し、「出張取り消し」ボタンをクリックすることで出張依頼が取り消されます。

図-11 . 出張依頼の取り消し

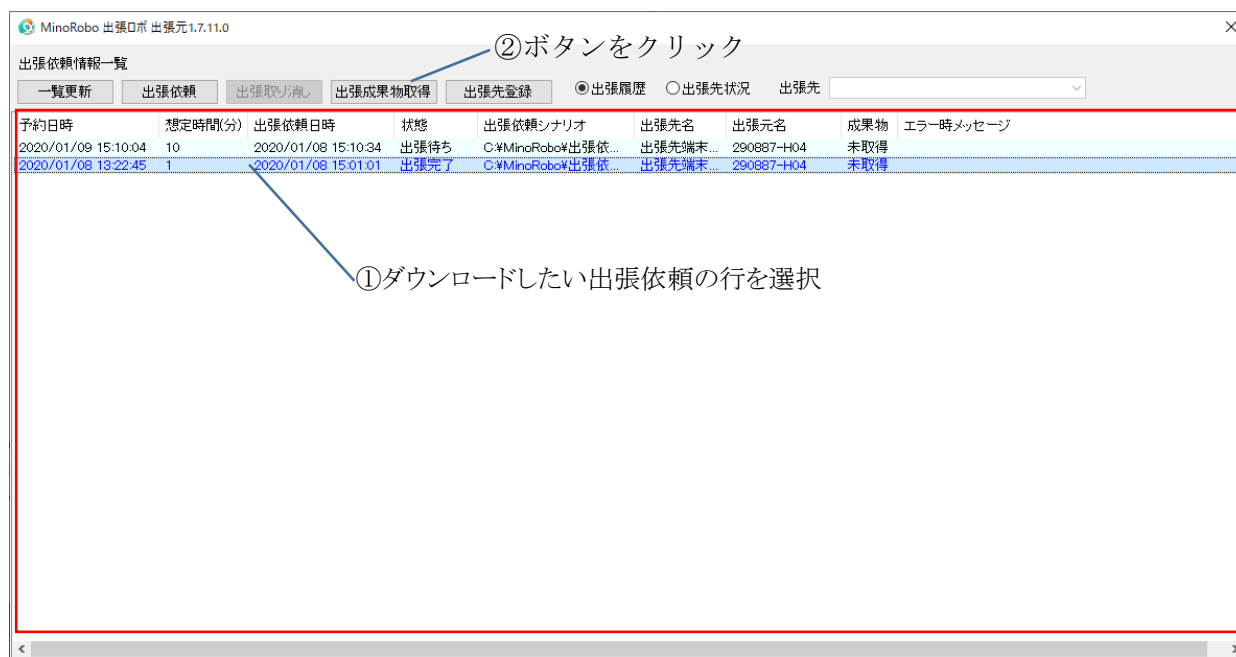


3-3. 出張結果のダウンロード

出張依頼状態が「出張完了」もしくは「エラー」の行について、出張依頼したシナリオと同一のフォルダに保存されているファイルを出張結果として出張先からダウンロードすることができます。

図-12. 出張結果のダウンロードの赤枠で囲われているエリアから出張結果をダウンロードしたい出張依頼の行を選択し、「出張成果物取得」をクリックすることで出張先からダウンロードを行います。

図-12 . 出張結果のダウンロード



3-4. コマンドラインでの実行

出張ロボ(出張元)は「出張依頼」/「一覧の状態を更新」/「出張結果のダウンロード」をコマンドラインから、出張ロボ(出張元)の実行ファイルに続けてパラメータを指定することで実行することができます。

なお出張ロボ(出張元)の実行ファイルは通常、下記のパスとなっております。

“C:¥Program Files (x86)¥MinoRobo¥MinoRoboRequester.exe”

また、出張ロボ(出張元)は非同期で実行されるため実行完了を待ってから次の処理を行うような場合、以下のように「START」コマンドを使用することによって処理の完了を待つことができます。

Start /Wait “C:¥Program Files (x86)¥MinoRobo¥MinoRoboRequester.exe” …

3-4-1-1. 出張依頼

出張依頼をコマンドラインで行うには出張ロボ(出張元)の実行ファイルのフルパスに続けて表-6. 出張依頼コマンドパラメータを参照して指定してください。

表-6. 出張依頼コマンドパラメータ

| 番号 | 名称 | 内容 |
|----|-----------|--|
| 1 | 実行コマンド | 出張依頼は“REQUEST”とします。 |
| 2 | 出張先名称 | 図-7「MinoRobo 出張先登録」画面で登録した出張先名称を指定します。 |
| 3 | シナリオファイル名 | 出張させるシナリオファイルをフルパスで指定します。 |
| 4 | 配下を持たせる | “True”または“False”を指定します。大文字/小文字は同一として判断します。 |
| 5 | 実行想定分 | 1以上の数値を指定します。 |
| 6 | 実行開始日 | YYYY/MM/DD 形式で指定します。実行開始時と合わせて省略することも可能です。 |
| 7 | 実行開始時 | hh:nn:ss 形式で指定します。実行開始日と合わせて省略することも可能です。 |

3-4-1-2. 一覧の状態を更新

図-10. 出張依頼状態の確認の「一覧更新」ボタンをクリックするのと同様に一覧の状態の更新をコマンドラインで行うには出張ロボ(出張元)の実行ファイルのフルパスに続けて表-7. 一覧更新コマンドパラメータを参照して指定してください。

表-7. 一覧更新コマンドパラメータ

| 番号 | 名称 | 内容 |
|----|--------|--------------------|
| 1 | 実行コマンド | 一覧更新は“UPDATE”とします。 |

3-4-1-3. 出張結果のダウンロード

出張結果のダウンロードをコマンドラインで行うには出張ロボ(出張元)の実行ファイルのフルパスに続けて表-8. 出張結果ダウンロードコマンドパラメータを参照して指定してください。

表-8. 出張結果ダウンロードコマンドパラメータ

| 番号 | 名称 | 内容 |
|----|-----------|--|
| 1 | 実行コマンド | 出張結果ダウンロードは“GET”とします。 |
| 2 | 出張先名称 | 図-7「MinoRobo 出張先登録」画面で登録した出張先名称を指定します。 |
| 3 | シナリオファイル名 | 出張させたシナリオファイルをフルパスで指定します。 |
| 4 | 予約日 | 出張依頼時の実行開始日を YYYY/MM/DD 形式で指定します。 |
| 5 | 予約時 | 出張依頼時の実行開始時を hh:mm:ss 形式で指定します。 |
| 6 | 保存先フォルダ | 出張結果をダウンロードするフォルダを指定します。 |

4. 制限事項

4-1. 機能制限

MinoRobo 出張ロボの使用に関する機能上の制限事項を記載していますが、記載がないものを全て保証するものではありません。

また、出張ロボは MinoRobo Worker の機能を使用しています。MinoRobo Worker の機能制限の詳細については、「MinoRobo 操作マニュアル」を参照してください。

4-1-1. 出張ロボの機能制限

出張ロボの使用に関する機能上の制限事項は表-9. 出張ロボ機能制限一覧に記載していますが、記載がないものを全て保証するものではありません。

表-9. 出張ロボ機能制限一覧

| No | 制約事項 |
|----|---|
| 1 | 出張先はインストール時にスタートアップに登録されます。 |
| 2 | 出張先でシナリオが実行されている間は、出張元で「MinoRoboWorker」を使用することができません。 |
| 3 | 出張元と出張先で OS や操作を行うアプリケーションのバージョンが異なる場合に、出張先で操作を再現できない場合があります。 |
| 4 | 出張依頼したシナリオは、出張先のログインユーザ権限で実行されます。 |
| 5 | 出張書類（サブシナリオファイル、スクリプトファイル、excel ブックなどその他のファイル）を参照する場合、「シナリオファイル⇒フォルダ名」アクションで取得したパスを使用してファイルパスを指定する必要があります。指定方法については「5-1. 「シナリオファイル⇒フォルダ名」アクションの使用例」を参照してください。 |
| 6 | 出張依頼するシナリオ内に変数演算アクション等を使用したメッセージボックスを表示するアクションがある場合、シナリオの実行が停止してしまいます。実行を再開するには出張先の端末を操作し、メッセージボックスを閉じる必要があります。 |
| 7 | 出張先はインストール時にスタートアップに登録されます。 |

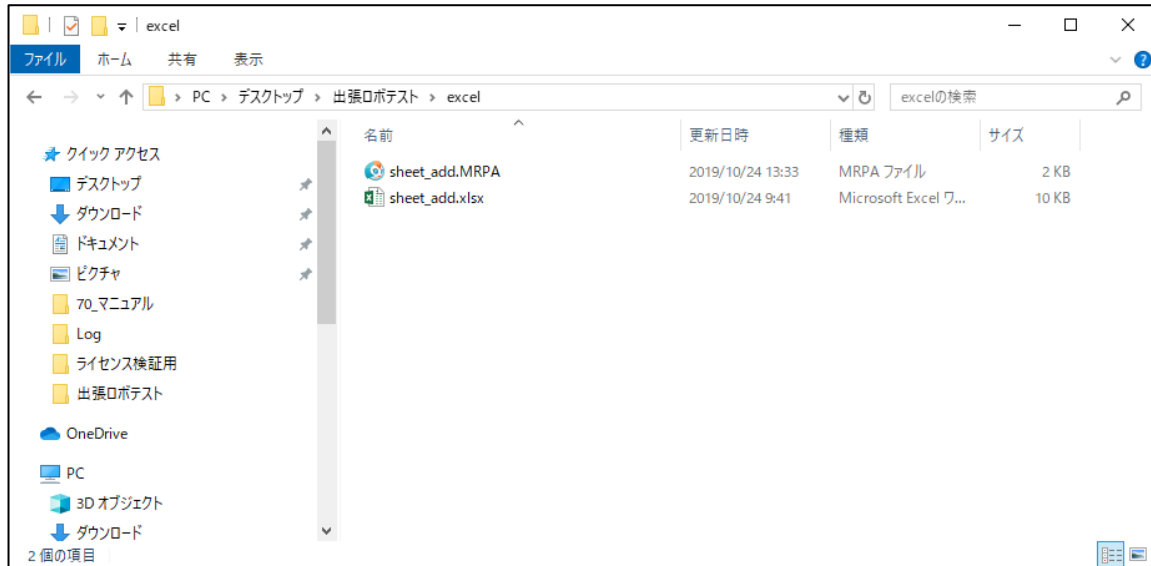
5. 参考

5-1. 「シナリオファイル⇒フォルダ名」アクションの使用例

ここでは、出張書類をシナリオ内で参照する場合のシナリオ作成例を説明します。

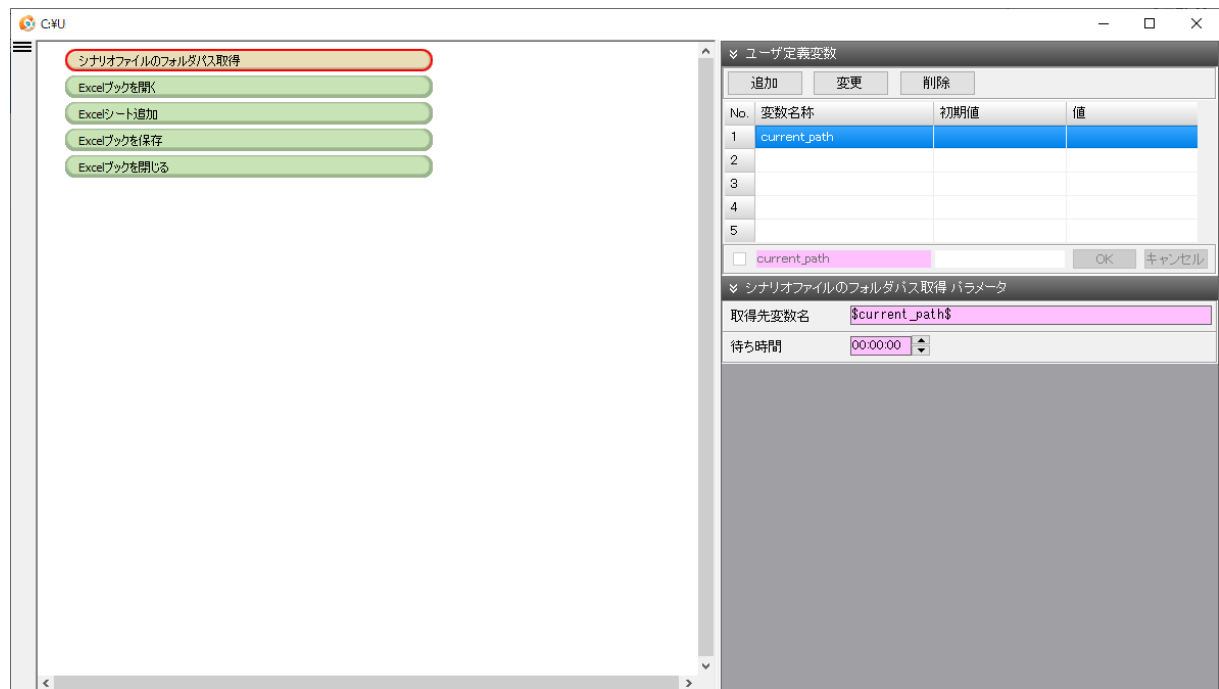
今回は、図-13. 出張依頼シナリオ保存フォルダのようにフォルダ内の「sheet_add.xlsx」を出張書類として送信し、シナリオ内でシートを追加するシナリオを例とします。

図-13 . 出張依頼シナリオ保存フォルダ



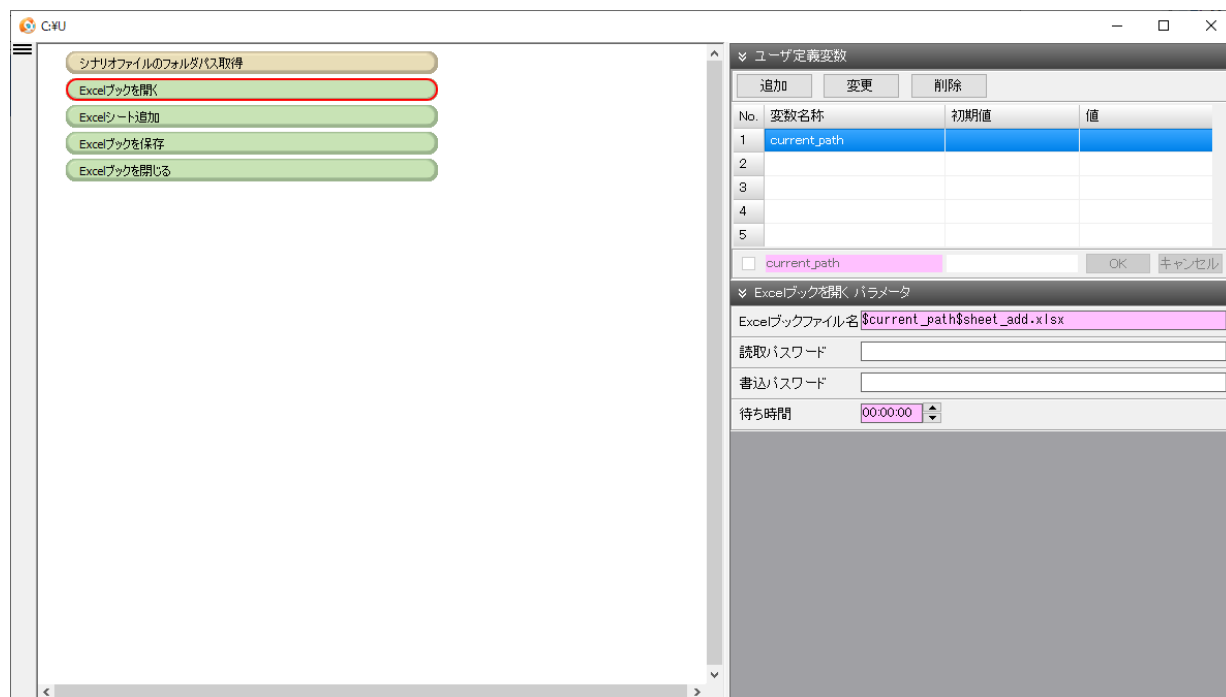
まず、シナリオファイルが保存されているフォルダのパスを図-14. シナリオファイルのフォルダパス取得のように「シナリオファイルのフォルダパス取得」アクションを使用してユーザ定義変数「current_path」に取得します。

図-14 . シナリオファイルのフォルダパス取得



次に、図-15. Excel ブックを開くアクションのパラメータ設定で「Excel ブックを開く」アクションの Excel ブックファイル名に「\$current_path\$」 + 【エクセルブックファイル名】を指定します。

図-15 . Excel ブックを開くアクションのパラメータ設定



このように設定することで出張先でも出張書類を参照してシナリオを実行することができます。